

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 5 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	施設理念の共有と実践。	理念の追求をし、共有することで、利用者様がより居心地のいい空間が出来る様実践を行う。	月1度行われるモニタリング会議での理念確認と共に内容の追求と現状の共有を行う。日々の介護目標に理念を念頭に置き、施設向上のため、地域密着型サービスを取り入れていく。	6ヶ月
2	4	運営推進会議での意見共有と反映。	運営推進会議での意見、要望を共有し、一人ひとりの意識を高めるとともに、施設の運営や支援に反映する。	運営推進会議での貴重な意見、要望をまとめた報告書を作成し、施設内に掲示する。定例会議で結果を報告、共有し、問題解決、施設運営向上の為協議し、実践の中で反映していく。	12ヶ月
3	37	生活の中で本人が希望とすることが言える環境作り。	利用者様との信頼感を得て、一人ひとりが思いや訴えを伝えることのできる職員を目指していく。	理念にもある「なんでもいいやすい職員、環境」をいまいちど職員内で共有し、本人の現状やサインの確認を行い、より密な関係を気づき安心して訴え、話ができる環境作りを図る。	12ヶ月
4	35	地域との連携による体制づくり	地域密着型という特性を活かし、災害時の地域からの協力と、地域への支援を行う。	年2回の防災訓練の際、地域の方への参加依頼をし、合同で行う。また、地域での訓練がある際にも声をかけていただき、参加を図る。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。